

# オールラウンドモデル

基本の山岳テントが多くラインナップされている。北アルプスのような高所を含むような山でも対応しやすい。そのぶん、低地での暑さに弱く、間違いのないセレクトの定番ゆえに人とかぶりやすい。オプションや使い方次第では冬期も対応できるモデルも揃う。



**MSR / アクセス 1**  
¥77,000 / 最小重量: 1,370g / 内寸: D84×W213×H104cm / ◎モチヅキ  
弾力あるポールをクロスさせた構造で、強風に耐える剛性と頭上の居住スペースを確保。標高の高い山や雪山、悪天候も対応するオールシーズンモデル



**ライベン / エアライズ 1**  
¥42,900 / 最小重量: 1,360g / 内寸: D205×W100×H100cm / ◎エアテント  
2本のポールを袋状のスリーブに通してクロスさせる、基本の形をしたロングセラーモデル。強度、耐久性、使い勝手のバランスのよさが選ばれる秘訣



**エススペース / ソロアルティメイト**  
¥61,050 / 最小重量: 1,285g / 内寸: D100×W210×H100cm / ◎ヘリテジ  
狭すぎない快適な広さと強度、降雨対策も十分施された軽量コンパクトなモデル。設置しやすいポールスリーブ式。大きなメッシュ窓で換気できる



**モンベル / ステラリッジテント 1**  
本体 ¥30,250、レインフライ ¥13,750 / 最小重量: 1,140g / 内寸: D210×W90×H105cm / ◎モンベル

## 高所向け

吊り下げ式を採用した定番山岳テント。強風時には、テント本体を先にベグダウンして設置できる。フライシートは別売りで、4色から選べる



**ファイントラック / カミナドーム 1**  
¥60,500 / 最小重量: 1,130g / 内寸: D90×W205×H100cm / ◎ファイントラック  
広い前室やメッシュ窓など、居住性と強度、耐久性を高い次元でバランスした4シーズン対応の軽量モデル。2色展開。積雪期用オプションあり



**ザ・ノース・フェイス / マウンテンショット 1**  
¥52,800 / 最小重量: 1,090g / 内寸: D90/64×W220×H105cm / ◎ゴールドウインカスタマーサービス  
2本のポールを交差させるスタンダードな構造。サブポールの追加によって頭上を広がり快適に。極薄のフライシートなどで軽量化を図った

# ダブルウォールテントだけを集めました！ 重量と居住性から見る ソロテントの相関図

代表的な山岳ソロテントを特徴に合わせて一覧化。目的の山やユーザーの体格などに応じて、ニーズに合った理想のモデルを探そう！

文◎寺井真理 Text by Mari Terai

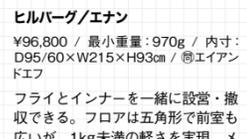
3シーズンならこれで間違いなし！

## バランス重視モデル

最小重量1kg前後という軽さと荒天における強度を併せもつタイプ。極薄で軽量の素材を採用しながら、特殊な繊維やコーティングなどによって防水性や高剛性を両立。必要最低限のソロテントといえど、ヘッドクリアランスを確保するなど居住性にも配慮されている。



**ヘリテジ / ハイレヴォ**  
¥54,780 / 最小重量: 925g / 内寸: D93×W203×H100cm / ◎ヘリテジ  
居住性の高いダブルウォール構造と、設置しやすいベアーシクナ形でありながら、パーツごとに軽量化を徹底追求。1kgを切るモデルを実現した



**ヒルバーク / エナン**  
¥96,800 / 最小重量: 970g / 内寸: D95/60×W215×H93cm / ◎エイアンドエフ  
フライとインナーを一緒に設置・撤収できる。フロアは五角形で前室も広いが、1kg未満の軽さを実現。メインポール1本を使用する非自立式



**ニーモ / タニ 1P**  
¥60,500 / 最小重量: 1,060g / 内寸: D105×W202×H103cm / ◎イワタニ・プリムス  
同社の中心的なモデル。約1kgの重量で、収納時もコンパクト。長辺側の入り口が大きく、フライを左右全開にして開放感を味わえる



**プロモンテ / VS-12**  
¥41,800 / 最小重量: 1,550g / 内寸: D90×W205×H100cm / ◎エイチシーエス  
VLシリーズより耐久性や耐候性を求める人に向けたオールシーズン対応モデル。インナーの底部分は、グラウンドシートがなくとも十分な強度



**ライベン / トレックライズ 1**  
¥46,420 / 最小重量: 1,460g / 内寸: D110×W210×H105cm / ◎アラテント  
厳冬期まで想定したエアライズと異なり、3シーズンにおけるテント泊の楽しさ、快適さを求めた。風を通しやすく、出入り口や前室が広い



**ライベン / オニドーム 1**  
¥47,300 / 最小重量: 1,290g / 内寸: D122/82×W230/148×H97cm / ◎アラテント  
ポール2本で立ち上げる基本のドーム構造でありながら、テント本体の一端が凹んだ形になっている。そのスペースを前室として利用する設計



**プロモンテ / VL-17**  
¥50,600 / 最小重量: 1,190g / 内寸: D90×W205×H100cm / ◎エイチシーエス  
軽量でコンパクトな定番山岳テント。ポールを吊り下げる構造などに工夫をこらし、耐久性を確保。速乾性に優れたポリエステルを生地を使用

## 重い

**オウトス / ニューアルバインテント 1 人用**  
¥35,200 / 最小重量: 1,621g / 内寸: D90×W205×H100cm / ◎オウトス  
ポール、ベグ、インナーとフライの生地はいずれも強度と防水性能の高い素材を採用。メッシュ窓や前室あり。コストパフォーマンスに優れる



**ヒルバーク / ニアック 1.5**  
¥115,500 / 最小重量: 1,600g / 内寸: D120×W220×H100cm / ◎エイアンドエフ  
ポール2本を使ったドーム構造。フライとインナーをいっしょに設置・撤収でき、インナーは取り外しも可能。ソロ用では十分な広さをもつ



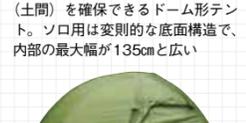
**ゼログラム / オールニューエルチャルテンプロ 1.5P**  
¥73,700 / 最小重量: 1,432g (張り網含む) / 内寸: D104×W210×H98cm / ◎ゼログラム  
フライとインナー、グラウンドシートを連結して、すばやく設置・収納できる。メッシュインナーは通気性と撥水性を併せもつ特殊繊維を使用



**ニーモ / アトム 1P**  
¥42,900 / 最小重量: 1,280g / 内寸: D90×W210×H105cm / ◎イワタニ・プリムス  
2本のポールをクロスさせるシンプルなデザイン。フライをベグダウンすると前室が台形になる。比較的安価ながら、十分軽量で居住性も高い

**ゼログラム / ブラックビュート 1P**  
¥66,000 / 最小重量: 1,590g (張り網含む) / 内寸: D210×W100×H100cm / ◎ゼログラム  
ポール2本をクロスさせたドーム形の本体に、フライと3本目のポールで広い前室を確保する。インナーの天井部はメッシュを使用

**ライベン / ドマドーム 1PLUS**  
¥56,100 / 最小重量: 1,680g / 内寸: D135/75×W200×H104cm / ◎アラテント  
3本のポールを使用することで前室(土間)を確保できるドーム形テント。ソロ用は変則的な底面構造で、内部の最大幅が135cmと広い



**モンベル / ムーンライトテント 1**  
¥30,580 / 最小重量: 1,490g / 内寸: D210×W110/70×H105cm / ◎モンベル  
地上付近のフレームが垂直に近い角度で立ち上がるため、圧迫感が少なく、床面積を最大限活用できる。同社が誇るロングセラーモデル

のんびりテント泊に最適！

## 居住性重視モデル

重量が増えても山でのキャンプを楽しみたい人におすすめ。前室が広いなど空間にゆとりがあるモデルの場合、稜線上の狭いスペースには張りづらいので注意が必要だ。耐候性の高さはモデルごとに異なるため、特徴を見定めて活用シーンを選ぼう。

## 低地向け

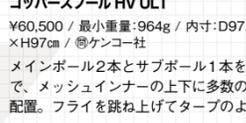
**シートゥサミット / アルト TR1 プラステント**  
¥59,620 / 最小重量: 1,056g / 内寸: D107/60×W215×H105cm / ◎ロストアロー  
台形型の平面、高くてゆとりのある天井部、大きな入口など、閉塞感を抑えた軽量テント。インナーはフルファブリック。2カ所の通気口あり



**MSR / ハバニバールド 1**  
¥58,300 / 最小重量: 950g / 内寸: D76×W216×H94cm / ◎モチヅキ  
耐久性と軽量性を追求するハバニシリーズの今期最新モデル。インナーのメッシュ部分が減ったことで、幅広い季節や天候に対応しやすくなった



**ビッグアグネス / コッパースプール HV UL1**  
¥60,500 / 最小重量: 964g / 内寸: D97/71×W224×H97cm / ◎ケンコー社  
メインポール2本とサブポール1本を使う自立式で、メッシュインナーの上下に多数のポケットを配置。フライを跳ね上げてタープのようにできる



**テラノヴァ / レーサーコンパクト 1**  
¥61,600 / 最小重量: 860g / 内寸: D93/62×W220×H95cm / ◎ケンコー社  
UL志向のテラノヴァテントで人気のモデル。七角形のフロアでテント内にもゆとりがある。非自立式で、メインポール1本とサブポール2本を使用する



**ビッグアグネス / フライクリーク HV UL1 ソリューションダイ**  
¥52,800 / 最小重量: 765g / 内寸: D218×W97/71×H102cm / ◎ケンコー社  
Y字形にポールを組む半自立式で、ULテントの中心的モデル。前室に面する出入り口を垂直に近く立ち上げたことで、居住性が向上した



**ニーモ / ホーネットエリート オズモ 1P**  
¥58,300 / 最小重量: 657g / 内寸: D102/81×W221×H99cm / ◎イワタニ・プリムス  
今期登場した究極の超軽量ソロテント。上から見るとY字形をした半自立式で、インナーテントはメッシュを使用。独自の機能で上部空間を広げた

